

AP Communication

株式会社アピックス 社外報

July, 2019
令和元年



特集

情報セキュリティへの取り組み



弊社は、情報セキュリティの取り組みとして、2014年9月にISO27001を認証取得し現在に至ります。当初はお客様のサービスを受託する上での要件として必須のマネジメントシステムであり、大阪本社・東京支店・データセンターの3か所を認証範囲としています。

マネジメントシステムとして、社員全員がその意味を理解するために、社長である私自身がCISO*を務め、社員の役職者を中心とする有志の多くが「情報セキュリティ管理士」の資格を取得しました。現在までの5年間においても、情報セキュリティリスクは高まっており、メールの誤発信やスマートフォンの普及によるモバイル機器リスクなどを、教育を通じ人的リスクを低減し、全社でのマネジメントがしっかりと回るよう、社業に組み込んでいます。注 CISO*:Chief Information Security Officer(情報セキュリティ管掌の責任者)

活動レポート ISMS 事務局：平岩 伸一

当社は、CISOである経営陣を中心とした全社横断的な情報セキュリティ管理体制を構築し、「人的・組織的対策」、「物理的対策」、「技術的対策」の観点で情報セキュリティ対策を行い、情報資産の適切な保護・管理に努めています。

情報セキュリティ対策は、常に積極的に対策を行い、新たな脅威に対応すべく、継続的な見直しと改善が必要とされます。ここでPDCAサイクルにより、ISMSを計画、運用、点検、維持・改善する為のプロセスアプローチを実施。セキュリティに関わるプロセスを明らかにし、セキュリティレベルの向上を図っています。

その中でもとても重要な「人的・組織的対策」の取り組み、活動をご紹介します。



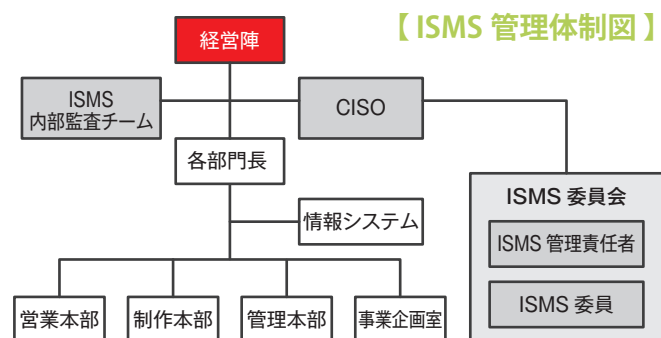
PDCAとは、「Plan・Do・Check・Action」の略。

Plan：情報セキュリティの目標を定め、達成するための計画

Do：目標と計画をもとに、情報セキュリティの具体的な行動

Check：計画達成状況のチェック、評価

Action：評価結果をもとに、是正処置、予防処置



1. 方針展開と施策の共有

経営方針発表会でCISO及びISMS委員会から情報セキュリティ方針・目標の展開、活動レビューを行います。

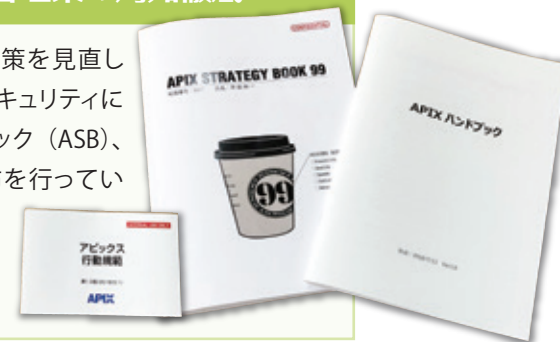
*全社キックオフ 10月
*中間キックオフ 5月



2. 情報セキュリティ規程の整備と管理策の周知徹底

各種規程と管理策を見直し従業者へ情報セキュリティに関するガイドブック(ASB)、行動規範の配布を行っています。

*1回/年更新



4. 非常事態に備えた想定訓練の実施



コンピューターウィルス感染時の一時対応訓練と緊急時のエスカレーション訓練を実施しています。

*1回/年実施

情報セキュリティ管理士をご存知ですか？

一般財団法人全日本情報学習振興協会が認定する資格試験です



情報化社会において、情報セキュリティに関する知識は全ての社員が理解しておく必要があります。

これらを背景に、当社では情報セキュリティに関する全般的かつ実践的な知識をもつ人材の育成推進を目的とし、この資格取得を推奨しています。現在、29名の資格取得者が在籍しています。

今回、勉強する中で、弊社でのIT/ネットワーク関係のセキュリティや、ルールを改めて考える機会になりました。既知や未知も含めて知識として新たに蓄積できたと思っております。

一方で、知識を持つだけではなく、それを活かす能力も必要だと強く思いました。

大阪制作部：植田 知子

【情報セキュリティ管理士合格者の声】



3. 情報セキュリティに関する教育の定期的な実施

従業者全員に情報セキュリティの教育と理解度テストを実施しています。*1回/年実施





2019年3月に、富士ゼロックス社製特色専用POD機7171modelSTを、事業企画室での新商品企画開発の目的のために、東京支店に導入いたしました。

具体的に言うと、通常のフルカラーPODでは、cyan,magenta,yellow,blackの4色でフルカラーを表現しますが、当特色専用POD機では、gold,silver,white,blackの4色を搭載し、メタリックカラーを含む特色での独自表現を目的とした専用マシンです。特色市場をオフセット印刷で実現しようとする、技術面では本機校正・版胴清掃の手間・初

▼東京支店事業企画室
7171modelST



期調整などが大変で、コスト・納期・品質の面からも少数部数での実現

は難しい市場です。そのような市場をこのデジタル印刷機により、賞状・DM・パンフレット・パッケージ・POP・クリアファイルなどニッチでインパクトのある商品開発が可能になり、特にベースの紙マテリアルのバリエーションとオーバープリントのデザインが重要で、企業のデザイナーや広報、広告代理店などに向け、新たなB2B、B2B2C、B2C市場へのサンプル作成に日々取り組んでいます。



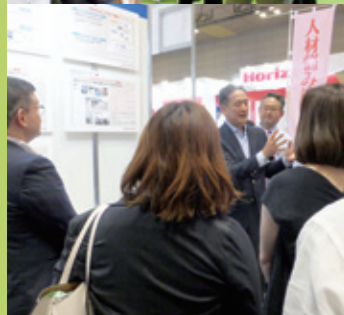
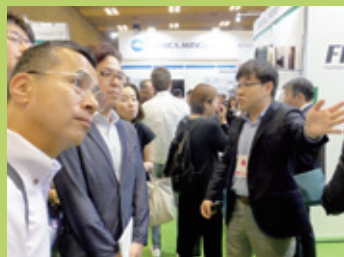
夏ごろには、新しい商品サンプルをお客様のところへお届けできる予定です。お客様からのご意見も取り入れ、商品開発をして参りますので、その節はよろしくお願いいたします。



5月31日・6月1日の2日間インテックス大阪にて開催された、関西印刷業界最大のイベント「JP2019 ICT と印刷展」に視察へ行ってきました。印刷関連機資材の展示をはじめ、印刷技術の活用事例など「印刷の今と未来への技術革新」を感じてきました。



▶ 本展示会へは毎年来場しており、本年度の印刷技術の多様化も然る事ながら、特に目を惹いたプリプレスに特化した工程管理システムの著しい進化にとっても驚かされました。働き方改革が施行され早2ヶ月程が経ちましたが、多品種・短納期・小ロットが当たり前の時代に、限られたリソースの中でいかにしてコアタイム内の生産性と品質向上を図っていくかを、本展示会を通して学び実感出来た事が大きかったです。大阪制作部：住田直紀



▶ 今年のJP展テーマである「Start up Ocean Front～自動化設備を満たす需要創出策から始めよう」から見られるように、今後の人口の減少や働き方改革による残業時間の削減などは社会的に大きな課題であります。その中で各社がどのような技術・方向性でこのテーマに取り組んでいるのかを学ぶ事が出来た今年のJP展での研修は、とても有意義でした。大阪制作部：仲間勝徳

株式会社アピックス

本社 〒541-0059 大阪市中央区博労町1-2-2
TEL:06-6271-7291 FAX:06-6271-7296
東京支店 〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-4-14 OZAWAビル3F
TEL:03-5879-7291 FAX:03-5879-7296

E-mail info@apix.co.jp
URL <http://www.apix.co.jp>